

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 明治ホールディングス株式会社  
 コード番号 2269 URL <http://www.meiji.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 浅野 茂太郎  
 (氏名) 梅本 隆司

TEL 03-3273-3917

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	862,432	1.1	31,689	38.3	34,370	36.5	19,031	63.2
25年3月期第3四半期	853,065	1.8	22,911	10.5	25,179	15.3	11,659	15.8

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 26,290百万円 (181.4%) 25年3月期第3四半期 14,495百万円 (65.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	258.39	—
25年3月期第3四半期	158.28	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	822,360	341,742	40.6	4,530.17
25年3月期	785,514	320,609	39.9	4,254.56

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 333,645百万円 25年3月期 313,383百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
26年3月期	—	40.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,128,000	0.1	34,000	31.5	35,500	21.9	19,000	14.1	257.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、[添付資料]5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	76,341,700 株	25年3月期	76,341,700 株
26年3月期3Q	2,692,000 株	25年3月期	2,683,368 株
26年3月期3Q	73,653,784 株	25年3月期3Q	73,664,867 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項については、[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は決算短信に添付しTDnetで開示しております。また、当社ホームページにも同日掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
当第3四半期 連結累計期間	862,432	31,689	34,370	19,031	258.39
前第3四半期 連結累計期間	853,065	22,911	25,179	11,659	158.28
対前年同期 増減率(%)	1.1	38.3	36.5	63.2	—

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、円安・株高を背景に企業収益が改善し、個人消費も増加するなど、景気の緩やかな回復が見られました。一方、景気や消費の先行きについては、本年4月の消費増税や為替動向などの影響が懸念されており、不透明な状態が続いています。

食品業界においては、消費者の節約志向が根強く残る中、原材料やエネルギーのコストが大幅に収益を圧迫し、また医薬品業界では本年4月の薬価改定に伴う厳しい影響が見込まれるなど、取り巻く環境は一層厳しさを増しております。

こうした中、当社グループは、2012 - 2014年度グループ中期経営計画『TAKE OFF 14』の中間年度に当たる今年度も引き続き、重点テーマ「収益性向上と飛躍に向けた戦略投資」に基づく、「既存事業の強化・拡大」「成長事業の育成」「収益性の向上」に取り組んでおります。

食品セグメントにおいては、2013年4月に収益基盤強化を目的とする組織改革を実施し、乳製品、菓子、健康栄養など各事業で構造改革の取り組みを強力に進めています。また医薬品セグメントにおいては、「スペシャリティ&ジェネリック」の戦略を推進するとともに、ローコストオペレーションや将来に向けた研究開発を進めています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 8,624億32百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は 316億89百万円（同38.3%増）、経常利益は 343億70百万円（同36.5%増）、四半期純利益は 190億31百万円（同63.2%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結 損益計算書 計上額
	食品	医薬品	計		
売上高	766,958	97,159	864,118	△1,685	862,432
営業利益	24,683	7,028	31,712	△22	31,689

## ① 食品セグメント (株式会社 明治の事業に相当)

	前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)	対前期 増減率(%)
売上高	761,793	766,958	0.7
営業利益	15,460	24,683	59.7

売上高については、乳製品事業および健康栄養事業は前年同期を上回り、菓子事業は前年同期を下回った結果、全体では前年同期並みとなりました。

営業利益については、乳製品、菓子、健康栄養のいずれの事業も増益となり、全体では前年同期を大幅に上回りました。全事業でコストダウンに取り組むとともに、乳製品事業ではプロバイオティクスをけん引役とするプロダクトミックスの改善、菓子事業ではチョコレートを中心とするロングセラーブランドへの集中、健康栄養事業では主力商品の売上増と販売生産性の改善などが奏功し、全体の収益改善に貢献しました。

事業別の売り上げ概況は次のとおりです。

■**乳製品事業**（【市乳】ヨーグルト、牛乳類、飲料等 【加工食品】チーズ、バター、冷凍食品、業務用食品等）

市乳はプロバイオティクスが引き続き好調に売り上げを拡大したことにより前年同期を上回り、加工食品は前年同期並みとなりました。その結果、全体では前年同期を上回りました。

【市乳】

- ・「明治ブルガリアヨーグルト」は前年同期を下回りましたが、「明治ブルガリアのむヨーグルト」は2013年9月発売の新しいパッケージが支持され好調に推移しました。
- ・プロバイオティクスは、健康志向が高まる中、積極的なマーケティング展開により商品価値の認知がさらに進み、「明治ヨーグルトR-1」「明治プロビオヨーグルトLG21」とも大きく伸長しました。
- ・牛乳類は前年同期を下回りましたが、「明治おいしい牛乳」はマーケティング活動などが奏功し、前年同期を上回りました。

【加工食品】

- ・市販チーズは、「明治北海道十勝」シリーズのカマンベール群は前年同期を上回りましたが、全体では前年同期並みとなりました。
- ・市販マーガリンは、2013年9月発売の「明治ぬってから焼く！チーズがこんがりソフト」が好調に推移しましたが、夏場の猛暑による市場低迷が響き、全体では前年同期を下回りました。

■**菓子事業**（【菓子】チョコレート、ガム、キャンディー等 【アイスクリーム】アイスクリーム等）

菓子は、主力のチョコレートが前年同期を上回ったものの、一部商品の提携解消の影響で前年同期を下回り、アイスクリームも前年同期を下回った結果、全体では前年同期を下回りました。

【菓子】

- ・2013年9月発売の大人をターゲットとした「大人のきのこの山」「大人のたけのこの里」が好調に推移、また「チョコレート効果」や「ブラックチョコレート」はカカオポリフェノールへの関心の高まりにより大きく伸長し、「明治ミルクチョコレート」も前年同期を上回りました。
- ・ガムは市場低迷が続く中、前年同期を下回りました。グミは、「果汁グミ」が新フレーバーの投入により大きく伸長し、前年同期を上回りました。

【アイスクリーム】

- ・アイスクリームは、主力の「明治エッセルスーパーカップ」は前年同期を上回りましたが、その他のアイスクリームが苦戦となり、前年同期を下回りました。

■**健康栄養事業**（スポーツ栄養、健康機能、OTC、粉ミルク、流動食、高齢者食等）

スポーツ栄養、粉ミルク、流動食が好調に推移し、全体では前年同期を上回りました。

- ・スポーツ栄養では、ランナーやジュニア向けの栄養セミナーなど普及活動の強化により、「ザバス」が前年同期を大幅に上回りました。
- ・健康機能では「アミノコラーゲン」が前年同期並みとなりました。
- ・粉ミルクは、前年同期を大幅に上回りました。
- ・流動食は前年同期を上回り、高齢者食は販路拡大に伴い前年同期を大幅に上回りました。

② 医薬品セグメント(Meiji Seika ファルマ株式会社の事業に相当)

	前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)	対前期 増減率(%)
売上高	93,118	97,159	4.3
営業利益	7,430	7,028	△5.4

売上高は、国内の医療用医薬品事業が堅調に推移し、前年同期を下回った生物産業事業を補い、全体では前年同期を上回りました。

営業利益は、医療用医薬品の増収の一方、生物産業の減収ならびに研究開発費用の増加が響き、全体では前年同期を下回りました。

事業別の売り上げ概況は次のとおりです。

■医療用医薬品事業

- ・抗菌薬では、「メイアクト」「オラペネム」はほぼ前年同期並みとなりました。
- ・抗うつ薬では、「リフレックス」が前年同期を大幅に上回りました。
- ・ジェネリック医薬品は前年同期を大幅に上回りました。カルシウム拮抗薬「アムロジピン錠 明治」、アルツハイマー型認知症治療薬「ドネペジル 明治」は大きく伸長しました。

■生物産業事業（農薬・動物薬）

- ・農薬では、前年度第1四半期に発生した主力品「オリゼメート」の出荷時期ズレの影響により、全体では前年同期を大幅に下回りました。
- ・動物薬では、水産用薬は前年同期を上回りましたが、家畜用薬、コンパニオンアニマル用薬は前年同期を大幅に下回り、全体としては前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

〔資産〕

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は8,223億60百万円となり、前連結会計年度末に比べて368億46百万円増加しました。これは受取手形及び売掛金が115億11百万円、仕掛品が10億74百万円、原材料及び貯蔵品が20億93百万円、機械装置及び運搬具が35億85百万円、建設仮勘定が98億53百万円、投資有価証券が75億42百万円増加したことなどによるものです。

〔負債〕

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は4,806億17百万円となり、前連結会計年度末に比べて157億13百万円増加しました。これはコマーシャル・ペーパーが80億円、賞与引当金が45億48百万円、売上割戻引当金が23億21百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が15億73百万円、短期借入金金が13億33百万円、その他流動負債が70億78百万円、長期借入金金が126億87百万円、退職給付引当金が52億65百万円、その他固定負債が17億45百万円増加したことなどによるものです。

〔純資産〕

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,417億42百万円となり、前連結会計年度末に比べて211億33百万円増加しました。これは利益剰余金が136億48百万円、その他有価証券評価差額金が39億18百万円、繰延ヘッジ損益が9億6百万円、為替換算調整勘定が18億33百万円増加したことなどによるものです。

なお、自己資本比率は40.6%（前連結会計年度末は39.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月12日の「平成26年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました連結業績予想数値に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、関東製酪㈱および群馬牛乳協業組合は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

㈱明治の連結子会社であったフレッシュネットワークシステムズ㈱は、同社を存続会社とし、北海道明販㈱、東北明販㈱、東京明販㈱、東京明治フーズ㈱、中部明販㈱、近畿明販㈱、中国明販㈱、九州明乳販売㈱を吸収合併し、明治フレッシュネットワーク㈱に商号変更しております。このため、北海道明販㈱、東北明販㈱、東京明販㈱、東京明治フーズ㈱、中部明販㈱、近畿明販㈱、中国明販㈱、九州明乳販売㈱は消滅会社となり、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

また、㈱明治の連結子会社であった金沢明販㈱は、会社分割によりフレッシュネットワークシステムズ㈱にチルド卸事業を分割し、㈱スリーエスアンドエルに商号変更しております。

㈱明治は、連結子会社であった㈱明治スポーツプラザの全株式をセントラルスポーツ㈱に譲渡したため、㈱明治スポーツプラザは第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

㈱明治の連結子会社であったFive Stars Dairy Ingredients Pte.Ltd.は清算終了したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(持分法適用の範囲の重要な変更)

Meiji Seika ファルマ㈱の持分法適用会社であった明治サノフィ・アベンティス薬品㈱は清算終了したため、第1四半期連結会計期間より持分法適用の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,902	17,500
受取手形及び売掛金	175,803	187,315
商品及び製品	81,339	81,088
仕掛品	2,229	3,304
原材料及び貯蔵品	37,624	39,717
その他	27,562	27,700
貸倒引当金	△251	△336
流動資産合計	341,211	356,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	275,303	277,390
減価償却累計額	△153,717	△157,806
建物及び構築物 (純額)	121,585	119,583
機械装置及び運搬具	436,863	450,922
減価償却累計額	△333,873	△344,347
機械装置及び運搬具 (純額)	102,990	106,575
工具、器具及び備品	56,830	54,596
減価償却累計額	△47,582	△46,043
工具、器具及び備品 (純額)	9,248	8,553
土地	68,655	69,167
リース資産	7,776	8,009
減価償却累計額	△3,630	△4,265
リース資産 (純額)	4,145	3,743
建設仮勘定	5,499	15,352
有形固定資産合計	312,124	322,976
無形固定資産		
のれん	161	72
その他	7,585	7,382
無形固定資産合計	7,746	7,455
投資その他の資産		
投資有価証券	53,931	61,473
その他	70,953	74,749
貸倒引当金	△453	△584
投資その他の資産合計	124,431	135,638
固定資産合計	444,302	466,070
資産合計	785,514	822,360



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,460	111,033
短期借入金	42,108	43,442
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
コマーシャル・ペーパー	40,000	32,000
未払法人税等	7,868	8,800
賞与引当金	9,242	4,693
返品調整引当金	228	263
売上割戻引当金	5,263	2,942
その他	80,592	87,670
流動負債合計	309,764	305,846
固定負債		
社債	85,000	85,000
長期借入金	23,285	35,973
退職給付引当金	22,338	27,604
役員退職慰労引当金	280	212
その他	24,235	25,981
固定負債合計	155,139	174,770
負債合計	464,904	480,617
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	98,851	98,852
利益剰余金	185,436	199,085
自己株式	△9,299	△9,344
株主資本合計	304,989	318,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,557	16,476
繰延ヘッジ損益	△816	90
為替換算調整勘定	△3,346	△1,513
その他の包括利益累計額合計	8,394	15,052
少数株主持分	7,226	8,097
純資産合計	320,609	341,742
負債純資産合計	785,514	822,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	853,065	862,432
売上原価	563,621	566,853
売上総利益	289,443	295,578
販売費及び一般管理費	266,532	263,889
営業利益	22,911	31,689
営業外収益		
受取利息	31	47
受取配当金	829	897
不動産賃貸料	1,732	1,710
受取補償金	1,500	750
為替差益	173	868
持分法による投資利益	155	368
その他	1,391	1,126
営業外収益合計	5,814	5,769
営業外費用		
支払利息	1,226	992
不動産賃貸原価	1,366	1,343
その他	954	752
営業外費用合計	3,546	3,088
経常利益	25,179	34,370
特別利益		
固定資産売却益	1,652	631
投資有価証券売却益	97	547
関係会社株式売却益	—	256
その他	93	104
特別利益合計	1,843	1,539
特別損失		
固定資産廃棄損	1,386	1,676
固定資産売却損	812	16
投資有価証券評価損	866	10
減損損失	—	967
賃貸借契約解約損	—	593
その他	1,876	737
特別損失合計	4,942	4,001
税金等調整前四半期純利益	22,081	31,907
法人税等	10,122	12,445
少数株主損益調整前四半期純利益	11,958	19,462
少数株主利益	298	430
四半期純利益	11,659	19,031

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,958	19,462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,789	3,938
繰延ヘッジ損益	1,061	907
為替換算調整勘定	△325	1,854
持分法適用会社に対する持分相当額	12	128
その他の包括利益合計	2,537	6,828
四半期包括利益	14,495	26,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,205	25,690
少数株主に係る四半期包括利益	290	600

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品	医薬品			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	760,848	92,217	853,065	—	853,065
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	945	900	1,845	△1,845	—
計	761,793	93,118	854,911	△1,845	853,065
セグメント利益	15,460	7,430	22,890	20	22,911

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額20百万円には、セグメント間取引消去116百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△95百万円が含まれております。全社費用は当社(持株会社)運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれんの発生はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品	医薬品			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	766,165	96,266	862,432	—	862,432
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	792	892	1,685	△1,685	—
計	766,958	97,159	864,118	△1,685	862,432
セグメント利益	24,683	7,028	31,712	△22	31,689

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△22百万円には、セグメント間取引消去125百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△148百万円が含まれております。全社費用は当社（持株会社）運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれんの発生はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成25年7月16日開催の取締役会決議に基づき、平成26年1月28日に下記のとおり国内無担保普通社債を発行致しました。

第6回無担保社債（7年債）

(1) 発行総額	150億円
(2) 発行価額	各社債の金額100円につき金100円
(3) 利率	年 0.519%
(4) 払込期日	平成26年1月28日
(5) 償還期限	平成33年1月28日
(6) 償還方法	満期一括償還
(7) 資金用途	株式会社明治に対する融資資金
(8) 特約事項	担保提供制限条項

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信 補足説明資料

### 目次

I. 平成26年3月期 連結概況	
1. 経営成績	1
2. セグメント情報	1
3. 計画	2
4. 営業利益 増減分析	3
II. その他	
1. 設備投資額、減価償却費、研究開発費	5
2. 主要経営指標の推移	5
III. 事業会社情報	
1. 株式会社 明治	6
2. Meiji Seika ファルマ 株式会社	7
IV. 平成26年3月期 食品セグメント内の事業の一部区分変更について	
	8



明治ホールディングス株式会社

I. 平成26年3月期 連結概況

(表中の金額は億円未満切捨て)

1. 経営成績

(単位:億円)

	25年3月期		26年3月期			26年3月期(計画)	
	3Q累計	対前期増減率	3Q累計	対前期増減率	対通期計画進捗率	通期	対前期増減率
売上高	8,530	+1.8%	8,624	+1.1%	76.5%	11,280	+0.1%
売上原価	5,636	+0.8%	5,668	+0.6%	—	—	—
販売費及び一般管理費	2,665	+3.2%	2,638	△ 1.0%	—	—	—
(運賃保管料)	335	△ 2.1%	326	△ 2.7%	—	—	—
(拡売費・広告宣伝費)	1,064	+8.9%	1,024	△ 3.7%	—	—	—
(労務費)	541	△ 0.7%	547	+1.1%	—	—	—
営業利益	229	+10.5%	316	+38.3%	93.2%	340	+31.5%
経常利益	251	+15.3%	343	+36.5%	96.8%	355	+21.9%
四半期(当期)純利益	116	+15.8%	190	+63.2%	100.2%	190	+14.1%

2. セグメント情報

(1) 売上高

(単位:億円)

	25年3月期		26年3月期			26年3月期(計画)		
	3Q累計	対前期増減率	3Q累計	対前期増減率	対通期計画進捗率	通期	対前期増減率	
食品セグメント	7,617	+2.0%	7,669	+0.7%	77.0%	9,960	△ 0.6%	
新区分	乳製品	4,664	+5.1%	4,840	+3.8%	76.9%	6,296	+2.8%
	菓子	1,483	△ 1.2%	1,454	△ 2.0%	77.1%	1,885	△ 4.1%
	健康栄養	617	△ 0.1%	663	+7.5%	80.9%	821	+3.2%
	その他	2,412	+1.6%	2,469	+2.4%	76.3%	3,237	+1.3%
	消去	△ 1,559	—	△ 1,757	—	—	△ 2,279	—
医薬品セグメント	931	+0.3%	971	+4.3%	72.7%	1,337	+5.0%	
食品セグメント	7,617	+2.0%	—	—	—	—	—	
旧区分	乳製品	4,700	+5.5%	—	—	—	—	—
	菓子	2,208	+0.1%	—	—	—	—	—
	健康栄養	886	△ 1.3%	—	—	—	—	—
	その他	1,382	+0.8%	—	—	—	—	—
	消去	△ 1,559	—	—	—	—	—	—
医薬品セグメント	931	+0.3%	—	—	—	—	—	

(2) 営業利益

(単位:億円)

	25年3月期		26年3月期			26年3月期(計画)		
	3Q累計	対前期増減率	3Q累計	対前期増減率	対通期計画進捗率	通期	対前期増減率	
食品セグメント	154	+47.5%	246	+59.7%	93.3%	265	+36.7%	
新区分	乳製品	141	+149.3%	189	+33.6%	87.5%	216	+17.1%
	菓子	27	△ 41.1%	53	+92.6%	109.5%	49	+46.6%
	健康栄養	△ 3	—	31	—	196.6%	16	—
	その他	18	△ 32.9%	△ 2	—	—	15	△ 32.1%
	消去および全社費用	△ 29	—	△ 25	—	—	△ 31	—
医薬品セグメント	74	△ 23.8%	70	△ 5.4%	92.5%	76	+17.6%	
食品セグメント	154	+47.5%	—	—	—	—	—	
旧区分	乳製品	152	+129.0%	—	—	—	—	—
	菓子	37	△ 31.8%	—	—	—	—	—
	健康栄養	△ 9	—	—	—	—	—	—
	その他	7	△ 43.7%	—	—	—	—	—
	消去および全社費用	△ 28	—	—	—	—	—	—
医薬品セグメント	74	△ 23.8%	—	—	—	—	—	

(注1) 食品セグメント内の参考情報として、各事業区分の業績(消去前の単純合算数値)を記載しております

(注2) 食品セグメント内の消去は各事業区分内および事業区分間の消去を含みます。また全社費用は各事業に配賦していない費用です

(注3) 平成26年3月期より食品セグメント内の事業の一部区分を変更しております

当期中の開示資料では、当区分を適用した平成25年3月期の実績をご参考として併記しております

3. 計画

(1) 連結計画

(単位: 億円)

	25年3月期(実績)						26年3月期(計画)					
	上期	対前期増減率	下期	対前期増減率	通期	対前期増減率	上期(実績)	対前期増減率	下期(11/12修正)	対前期増減率	通期(11/12修正)	対前期増減率
売上高	5,612	+2.4	5,652	+0.7	11,265	+1.6	5,629	+0.3	5,650	△ 0.0	11,280	+0.1
営業利益	100	+35.5	158	+23.7	258	+28.1	158	+58.2	181	+14.5	340	+31.5
経常利益	117	+36.1	173	+31.2	291	+33.1	179	+51.8	175	+1.5	355	+21.9
四半期(当期)純利益	52	+123.2	113	+156.0	166	+144.6	97	+85.9	92	△ 19.1	190	+14.1

(2) セグメント計画

1) 売上高

(単位: 億円)

	25年3月期(実績)						26年3月期(計画)						
	上期	対前期増減率	下期	対前期増減率	通期	対前期増減率	上期(実績)	対前期増減率	下期(11/12修正)	対前期増減率	通期(11/12修正)	対前期増減率	
食品セグメント	5,039	+2.7	4,976	+0.4	10,015	+1.5	5,041	+0.1	4,918	△ 1.2	9,960	△ 0.6	
新区分	乳製品	3,104	+7.4	3,020	+1.2	6,124	+4.3	3,212	+3.5	3,083	+2.1	6,296	+2.8
	菓子	972	+0.1	993	△ 3.6	1,965	△ 1.8	928	△ 4.6	956	△ 3.7	1,885	△ 4.1
	健康栄養	410	△ 2.8	384	+0.9	795	△ 1.0	430	+4.9	390	+1.5	821	+3.2
	その他	1,576	+0.6	1,619	+3.7	3,195	+2.2	1,632	+3.6	1,604	△ 0.9	3,237	+1.3
	消去	△ 1,024	—	△ 1,040	—	△ 2,064	—	△ 1,162	—	△ 1,116	—	△ 2,279	—
医薬品セグメント	584	△ 0.2	689	+3.3	1,273	+1.7	596	+2.0	740	+7.5	1,337	+5.0	
食品セグメント	5,039	+2.7	4,976	+0.4	10,015	+1.5	—	—	—	—	—	—	
旧区分	乳製品	3,148	+7.7	3,021	+0.8	6,170	+4.6	—	—	—	—	—	
	菓子	1,445	+1.4	1,478	△ 0.0	2,924	△ 0.4	—	—	—	—	—	
	健康栄養	576	△ 3.3	574	△ 1.3	1,150	△ 2.3	—	—	—	—	—	
	その他	893	△ 1.2	942	+4.8	1,836	+2.1	—	—	—	—	—	
	消去	△ 1,024	—	△ 1,040	—	△ 2,064	—	—	—	—	—	—	
医薬品セグメント	584	△ 0.2	689	+3.3	1,273	+1.7	—	—	—	—	—		

2) 営業利益

(単位: 億円)

	25年3月期(実績)						26年3月期(計画)						
	上期	対前期増減率	下期	対前期増減率	通期	対前期増減率	上期(実績)	対前期増減率	下期(11/12修正)	対前期増減率	通期(11/12修正)	対前期増減率	
食品セグメント	65	+147.0	128	+45.0	193	+68.7	133	+103.3	131	+2.5	265	+36.7	
新区分	乳製品	82	+415.9	101	+41.3	184	+109.6	121	+46.6	94	△ 7.3	216	+17.1
	菓子	3	△ 71.9	30	+4.6	33	△ 16.2	12	+302.1	36	+21.1	49	+46.6
	健康栄養	△ 5	—	△ 4	—	△ 9	—	12	—	3	—	16	—
	その他	2	△ 79.4	19	+78.9	22	△ 11.7	3	+2.2	11	△ 38.7	15	△ 32.1
	消去および全社費用	△ 16	—	△ 15	—	△ 32	—	△ 15	—	△ 15	—	△ 31	—
医薬品セグメント	33	△ 23.4	31	△ 18.4	64	△ 21.1	24	△ 26.4	51	+63.8	76	+17.6	
食品セグメント	65	+147.0	128	+45.0	193	+68.7	—	—	—	—	—	—	
旧区分	乳製品	92	+256.7	111	+50.6	203	+104.2	—	—	—	—	—	
	菓子	6	△ 50.7	39	+3.2	46	△ 10.9	—	—	—	—	—	
	健康栄養	△ 10	—	△ 10	—	△ 21	—	—	—	—	—	—	
	その他	△ 2	—	9	+455.7	7	△ 6.9	—	—	—	—	—	
	消去および全社費用	△ 20	—	△ 18	—	△ 37	—	—	—	—	—	—	
医薬品セグメント	33	△ 23.4	31	△ 18.4	64	△ 21.1	—	—	—	—	—		

- (注1) 食品セグメント内の参考情報として、各事業区分の業績(消去前の単純合算数値)を記載しております  
(注2) 食品セグメント内の消去は各事業区分内および事業区分間の消去を含みます。また全社費用は各事業に配賦していない費用です  
(注3) 平成26年3月期より食品セグメント内の事業の一部区分を変更しております  
当期中の開示資料では、当区分を適用した平成25年3月期の実績をご参考として併記しております



#### 4. 営業利益 増減分析

##### (1) 3Q累計 実績

(単位: 億円)

		セグメント内訳		
		食品	医薬品	他
25/3期 3Q累計	229	154	74	1
売上増減	+85	+59	+26	—
コスト低減	+56(※1)	+55	+1	—
販売間接費の増減	+15	+28	△13	—
子会社の業績	+4	+8	△4	—
原材料調達コスト	△38	△38	0	—
その他	△35(※2)	△20	△14	△1
26/3期 3Q累計	316	246	70	0

※1: 主な内訳 … 【食品】乳製品生産効率化+11 乳製品コスト減+12 菓子生産効率化+11 菓子コスト減+7 健康栄養コスト減+12

※2: 主な内訳 … 【食品】販売用不動産の評価損△15 【医薬品】研究開発費増△5 一般管理費増△9

## (2) 計画

## ≪上期≫ ※実績

(単位:億円)

	連結合計	食品 セグメント	医薬品 セグメント	他
25年3月期(実績)	100	65	33	2
売上増減	+39	+28	+11	—
コスト低減	+37	+32	+5	—
原材料調達コスト	△ 17	△ 17	0	—
販売間接費の増減	+9	+19	△ 10	—
その他	△ 12	△ 1	△ 10	△ 1
子会社の業績	+2	+7	△ 5	—
増減合計	+58	+68	△ 9	△ 1
26年3月期(実績)	158	133	24	1

## ≪下期≫ ※11/12修正

(単位:億円)

	連結合計	食品 セグメント	医薬品 セグメント	他
25年3月期(実績)	158	128	31	△ 1
売上増減	+46	+23	+23	—
コスト低減	+40	+38	+2	—
原材料調達コスト	△ 44	△ 44	0	—
販売間接費の増減	△ 24	△ 5	△ 19	—
その他	+9	+2	+7	0
子会社の業績	△ 4	△ 11	+7	—
増減合計	+23	+3	+20	0
26年3月期(計画)	181	131	51	△ 1

## ≪通期≫ ※11/12修正

(単位:億円)

	連結合計	食品 セグメント	医薬品 セグメント	他
25年3月期(実績)	258	193	64	0
売上増減	+85	+51	+34	—
コスト低減	+77	+70	+7	—
原材料調達コスト	△ 61	△ 61	0	—
販売間接費の増減	△ 15	+14	△ 29	—
その他	△ 3	+1	△ 3	△ 1
子会社の業績	△ 2	△ 4	+2	—
増減合計	+81	+71	+11	△ 1
26年3月期(計画)	340	265	76	△ 1

## Ⅱ. その他

### 1. 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(単位:億円)

	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	
	通期	通期	通期	上期 (実績)	通期計画 (11/12修正)
設備投資額	405	383	376	218	511
食品セグメント	—	334	331	188	440
医薬品セグメント	—	48	44	29	71
消去又は全社	—	0	0	0	0
減価償却費	413	408	408	198	410
食品セグメント	—	344	342	166	343
医薬品セグメント	—	51	53	25	55
消去又は全社	—	12	12	6	11
研究開発費	234	238	262	123	263
食品セグメント	—	106	111	56	113
医薬品セグメント	—	132	150	67	150
消去又は全社	—	0	0	0	0

(注) 設備投資額および減価償却費は、無形固定資産も含まれた数値です

### 2. 主要経営指標の推移

	23年3月期	24年3月期	25年3月期
	通期	通期	通期
連結売上高	11,110 億円	11,092 億円	11,265 億円
連結営業利益	299 億円	201 億円	258 億円
営業利益率	2.7 %	1.8 %	2.3 %
自己資本当期純利益率	3.3 %	2.3 %	5.5 %
総資産経常利益率	4.2 %	3.0 %	3.8 %
総資産	7,163 億円	7,499 億円	7,855 億円
純資産	2,935 億円	2,984 億円	3,206 億円
営業活動によるキャッシュ・フロー	579 億円	305 億円	506 億円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 324 億円	△ 443 億円	△ 395 億円
フリー・キャッシュ・フロー	255 億円	△ 137 億円	111 億円
1株当たり当期純利益	129.63 円	92.38 円	225.98 円
1株当たり純資産	3,906.36 円	3,958.24 円	4,254.56 円
1株当たり配当金	80.00 円	80.00 円	80.00 円

(注1) フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

(注2) 1株当たり純資産＝(純資産総額－少数株主持分)／(発行済株式数－自己株式数)

### Ⅲ. 事業会社情報

#### 1. 株式会社 明治【食品セグメント】

##### (1) 事業別売上(単体)

(単位:億円)

	25年3月期		26年3月期			
	3Q累計	対前期増減率	3Q累計	対前期増減率		
新区分	乳製品事業	3,393	+7.3	3,429	+1.1	
	市乳	2,252	+10.8	2,296	+1.9	ヨーグルト、牛乳類、飲料等
	加工食品	1,141	+0.9	1,133	△ 0.7	チーズ、バター、冷凍食品、業務用食品等
	菓子事業	1,268	△ 4.8	1,224	△ 3.5	
	菓子	933	△ 3.4	903	△ 3.2	チョコレート、ガム、キャンディー等
	アイスクリーム	334	+5.4	320	△ 4.3	市販用アイスクリーム等
	健康栄養事業	556	△ 7.7	592	+6.4	スポーツ栄養、健康機能、OTC、粉ミルク、流動食、高齢者食等
旧区分	乳製品事業	3,056	+7.9	—	—	
	市乳	2,252	+10.8	—	—	ヨーグルト、牛乳類、飲料等
	乳食品	804	+1.3	—	—	チーズ、バター、業務用乳製品等
	菓子事業	1,435	△ 0.3	—	—	
	菓子	930	△ 3.7	—	—	チョコレート、ガム、キャンディー等
	デザート	338	+5.2	—	—	市販用アイスクリーム、スイーツ等
	フードクリエイト	165	+9.6	—	—	業務用(製菓・食材)
	健康栄養事業	727	△ 1.9	—	—	
健康	419	△ 5.3	—	—	スポーツ栄養、健康機能、冷凍食品、OTC等	
栄養	351	+2.8	—	—	粉ミルク、流動食、高齢者食等	

(注1) 平成26年3月期より食品セグメント内の事業の一部区分を変更しております  
 当期中の開示資料では、当区分を適用した平成25年3月期の実績をご参考として併記しております

## 2. Meiji Seika ファルマ 株式会社【医薬品セグメント】

### (1) 事業別売上(連結)

(単位: 億円)

	25年3月期		26年3月期		
	3Q累計	対前期増減率 %	3Q累計	対前期増減率 %	
連結売上高	931	+0.3	971	+4.3	
医療用医薬品事業	815	+0.8	863	+5.9	感染症領域、中枢神経系領域、ジェネリック医薬品
生物産業事業	116	△3.1	108	△6.7	農薬、動物薬

### (2) 薬品開発品目一覧

ステージ	開発コード(一般名)	剤型	薬効分類	備考
承認	レザフィリン® (タラボルフィン)	注射	悪性脳腫瘍治療薬 (適応拡大)	
Phase III	ME2136 (アセナピン)	経口	統合失調症治療薬	導入元: Merck Sharp&Dohme B.V. (オランダ)
	SME3110 (フルボキサミン)	経口	強迫性障害治療薬(小児) (適応拡大)	共同開発: アッヴィ合同会社
Phase II	ME3113 (ウデナフィル)	経口	前立腺肥大症治療薬	導入元: Dong-A ST 株式会社(韓国)
	リフレックス® (ミルタザピン)	経口	線維筋痛症治療薬 (適応拡大)	導入元: MSD株式会社
	ME2112 (ジプラシドン)	経口	統合失調症治療薬	導入元: ラクオリア創薬株式会社
Phase II (米国)	ME1111	外用	爪真菌症治療薬	自社開発
Phase I	ME2125 (サフィナミド)	経口	パーキンソン病治療薬	導入元: Newron Pharmaceutical社 (イタリア)
Phase I (米国)	ME1100 (アルベカシン)	吸入	院内感染肺炎/人工呼吸器関連肺炎治療薬	自社開発

(注) 「レザフィリン®(タラボルフィン)」については平成25年9月20日にMeiji Seika ファルマより発表

#### IV. 平成26年3月期 食品セグメント内の事業の一部区分変更について

平成25年4月の株式会社 明治の組織変更に伴い、平成26年3月期より食品セグメント内の事業の一部区分を下図のように変更しております。

これに伴い、平成26年3月期以降の計画および実績の数値は、当区分で開示しております。また、平成26年3月期中の開示資料では、当区分を適用した平成25年3月期実績をご参考として併記しております。

なお、医薬品セグメントは変更していません。

食品セグメント＝(株式会社 明治)	
【旧区分(平成25年3月期まで)】	【新区分(平成26年3月期より)】
<b>乳製品事業</b> ヨーグルト、牛乳類、飲料、チーズ、バター、業務用乳製品等	<b>乳製品事業</b> ヨーグルト、牛乳類、飲料、チーズ、バター、 <u>食品</u> 、業務用食品(乳製品・ <u>製菓</u> ・ <u>食材</u> )等
<b>菓子事業</b> チョコレート、ガム、キャンディー、アイスクリーム、スイーツ、 <u>業務用(製菓・食材)</u> (注1) ●	<b>菓子事業</b> チョコレート、ガム、キャンディー、アイスクリーム等
<b>健康栄養事業</b> スポーツ栄養、健康機能、 <u>食品</u> 、OTC、粉ミルク、流動食、高齢者食等 (注2) ●	<b>健康栄養事業</b> スポーツ栄養、健康機能、OTC、粉ミルク、流動食、高齢者食等
<b>その他</b> 海外、飼料、畜産品、運送、機械技術サービス、外食、保険代理店、リース、不動産等	<b>その他(注3)</b> 海外、飼料、畜産品、運送、機械技術サービス、 <u>食料卸売</u> 、保険代理店、リース、不動産等
(注1) 菓子事業の業務用(製菓・食材)は、乳製品事業へ移管 (注2) 健康栄養事業の食品(冷凍食品、レトルト食品、ココア等)は、乳製品事業へ移管 (注3) 乳製品、菓子、健康栄養の各事業から、関連会社の一部をその他事業へ移管	

(変更なし)

医薬品セグメント＝(Meiji Seika ファルマ株式会社)
医療用医薬品および農薬・動物薬等

※ 当資料では、平成25年3月期までの事業区分を「旧区分」、平成26年3月期からの事業区分を「新区分」として表記しております。